

平成27年度第6回宇都宮市河内自治会議録

1 日 時 平成27年12月18日(金) 午後1時30分～午後3時35分

2 場 所 河内地域自治センター 第1・2会議室

3 出席者

【委員】 杉原弘修委員(会長), 川上幸子委員(副会長), 加藤幸雄委員, 櫻井基一郎委員, 宗像茂委員, 岩崎悦男委員, 菊地久美子委員, 小曾戸和子委員, 白坂喜美雄委員, 多田出芳子委員, 中澤敏美委員, 防木正雄委員, 松谷悦広委員, 山田祐子委員, 我妻勝次委員, 小森光晴委員, 島田正重委員, 永井寛委員,
計18名

【事務局】 河内地域自治センター所長, 地域まちづくり担当副参事, 地域経営課長, 地域づくり課長ほか4名
計8名

4 会議の公開・非公開 公開

5 傍聴者数 なし

6 会議経過

(1) 開会

・本日の会議の出席者数は18名, 清水映夫委員, 田村正男委員が欠席。委員数の過半数に達しているため, 会議が成立することを事務局から報告

(2) 報告事項

・地域自治制度の成果等を踏まえた今後の地区行政の進め方について

発言者	発言内容
自治振興課	地域自治制度の成果等を踏まえた今後の地区行政について, 別紙1により報告
事務局	ただいまの報告について何か質問はあるか。
委員	なし

(3) 協議事項

①地域まちづくりに関する施策の提案について

・実現方策(全体協議)

発言者	発言内容
会長	地域のまちづくりに関する施策の提案についての協議を行う。 前回の会議で, テーマ「自然環境, 都市環境」をグループごとに出していたが, 「目標」と「実現方策」について, 私と副会長で整理し, 資料としてまとめた。今回は, その資料をもとに協議を行い, 「実現プラン」につなげていきたい。事務局から説明をお願いします。
事務局	参考資料と資料1を説明
会長	事務局から説明があったが, 何か意見, 質問はあるか。
委員	なし
会長	意見等がなければ確定して良いか。
委員	了承
会長	グループ協議の進め方について, 事務局から説明をお願いします。
事務局	資料2, 3を説明
会長	事務局から説明があったが, 何か意見, 質問はあるか。
委員	なし

会 長	「実現プラン」について、グループ協議を進めていただく。各グループには、サポート役として事務局職員が入り、私も各グループを回るので、何かわからない点などがあつたら質問してほしい。
-----	------------------------------------------------------------------------------------------

実現プランのグループ協議を実施

会 長	A・B・Cの順で発表をお願いします。
委 員	<p>Aグループの発表をする。</p> <p>自然環境の実現方策「自然を守る学習や体験を充実する。」の実現プランは、「リーダーの養成と組織化を進め、継続学習の場をつくる。」</p> <p>実現プランの説明をする。リーダー養成と組織をつくり、体験を充実させるとの意見が出た。</p> <p>実現方策「水と緑にふれあう機会を増やす。」の実現プランは、「自然と触れあう地域づくりのマップをつくり、自然に親しんでもらう。」</p> <p>実現プランの説明をする。河内地域内の自然とふれあえる情報マップを作成すれば、皆さんが楽しめるのではとの意見が出た。</p> <p>実現方策「自然を守るひとの輪をつくり地域力を高める。」の実現プランは、「河内自然環境保全協議会を設置し、地域力を高める。」</p> <p>実現プランの説明をする。自然環境に携わっている団体等と連携を図り、地域力を高めてはどうかとの意見が出た。</p> <p>都市環境の実現方策「情報を共有し安全なまちづくりを進める。」の実現プランは、「住民の安全意識を高めるための拠点（電子掲示板）を整備する。」</p> <p>実現プランの説明をする。瞬時に皆さんに知らせるには電子掲示板で情報を周知する方法が良いのではとの意見が出た。広報での周知では時間のロスが出ると思う。</p> <p>実現方策「花と緑にあふれたまちなみをつくる。」の実現プランは、「花と緑のコンテスト等を実施して、明るいまちなみづくりを啓発する。」</p> <p>実現プランの説明をする。以前、子ども会で実施していた花壇コンクール等を実施すれば、花と緑にあふれた地域の啓発にもなると思う。</p> <p>実現方策「農村部と都市部の交流を図る。」の実現プランは、「地域の食材を使ったレシピの交換会や試食会（体験交流事業）を実施する。」</p> <p>実現プランの説明をする。地域の食材を利用したレシピ交換会等の場を設ける。</p>
委 員	<p>Bグループの発表をする。</p> <p>自然環境の実現方策「自然を守る学習や体験を充実する。」の実現プランは、「市民（特に児童生徒）が活動しやすい学習森や里山歩道を整備し、サークル活動で利用する。」</p> <p>実現プランの説明をする。児童生徒が学習しやすい里山を整備し、サークル活動で利用する。学習林になれば、農村の荒れた土地もきれいになると思う。</p> <p>実現方策「水と緑にふれあう機会を増やす。」の実現プランは、「湧水地や河川（鬼怒川・西鬼怒川・山田川等）を利用した全ての市民が参加したいようなイベントを実施する。」</p> <p>実現プランの説明をする。私は環境について考える「かわち消費者友の会」の団体に所属している。廃食油から作った粉石けんと合成洗剤の違いを啓発し</p>

	<p>ながら水保全の活動をしている。</p> <p>実現方策「自然を守るひとの輪をつくり地域力を高める。」の実現プランは、「児童から父兄までを対象にした生き物調査や自然観察会等を開いて自然の大切さを学ぶためのサークル活動を実施する。」という意見でまとめた。</p> <p>都市環境の実現方策「情報を共有し安全なまちづくりを進める。」の実現プランは、「地域防災マップ等を活用した安全システムを構築する交通安全施策をして、住宅密集地の違法駐車や無謀運転を防止する。」という意見でまとめた。</p> <p>実現方策「花と緑にあふれたまちなみをつくる。」の実現プランは、「公園や休耕地を利用した大型花壇を作る。」「花と緑の活動が充実した自治会を表彰する。」</p> <p>実現プランの説明をする。地域の環境を良くし、景観を美しくする。との意見が出た。</p> <p>実現方策「農村部と都市部の交流を図る。」の実現プランは、「地域ブランドを作り、地産地消の農・林生産物を作り、地元だけのものとせずメディアを活用しアピールする。」という意見でまとめた。</p>
委員	<p>Cグループの発表をする。</p> <p>自然環境の実現方策「自然を守る学習や体験を充実する。」の実現プランは、「幼小中の学習体験プログラムをつくり有識者による実践指導をする。」</p> <p>実現プランの説明をする。通常は大人が子どもに教えるが、自然学習をとおして子どもから大人に教えられる場合もあると思う。</p> <p>実現方策「水と緑にふれあう機会を増やす。」の実現プランは、「地域内の公園等を増やし充実させる。」</p> <p>実現プランの説明をする。水と緑に親しむためには親水公園が少ないのではと思い実現プランにした。</p> <p>実現方策「自然を守るひとの輪をつくり地域力を高める。」の実現プランは、「全市一斉清掃の機会を把握、クリーンな地域にするための活動をする。」</p> <p>実現プランの説明をする。全市一斉清掃に参加いただければ、市民の意識向上にも繋がるのではと思う。</p> <p>都市環境の実現方策「情報を共有し安全なまちづくりを進める。」の実現プランは、「地域を守るパトロール隊をつくり、情報収集を図り地域全体に発信する。」</p> <p>実現プランの説明をする。インターネット等で発信すれば良いのではとの意見が出た。</p> <p>実現方策「花と緑にあふれたまちなみをつくる。」の実現プランは、「花いっぱい運動を全地域で展開する。」</p> <p>実現プランの説明をする。公園や街頭を一年間をとおして花や緑が咲き誇る地域になればという思いがある。</p> <p>実現方策「農村部と都市部の交流を図る。」の実現プランは、「農業体験を実践する。」「お祭り等のイベントを行う。」</p> <p>実現プランの説明をする。都市部在住の方は農業経験が無いと思うので、農業体験ができればと思う。都市部と農村部との交流にもなると思う。</p>
会長	3グループの発表に対して意見等はあるか。
委員	なし

会 長	本日、皆さんからいただいた意見については、副会長と整理し、次回の会議でお示ししたいと思うが、一任願えるか。
委 員	了解した。
会 長	以上で第6回宇都宮市河内自治会議を終了する。

(4) その他

- ・ 次回の開催日程について平成28年2月19日金曜日に開催。詳細は後日連絡

(5) 閉会